

スーパーマッフル・デジタル

「顧客や施設情報」の取込み&応用編

CONTENTS

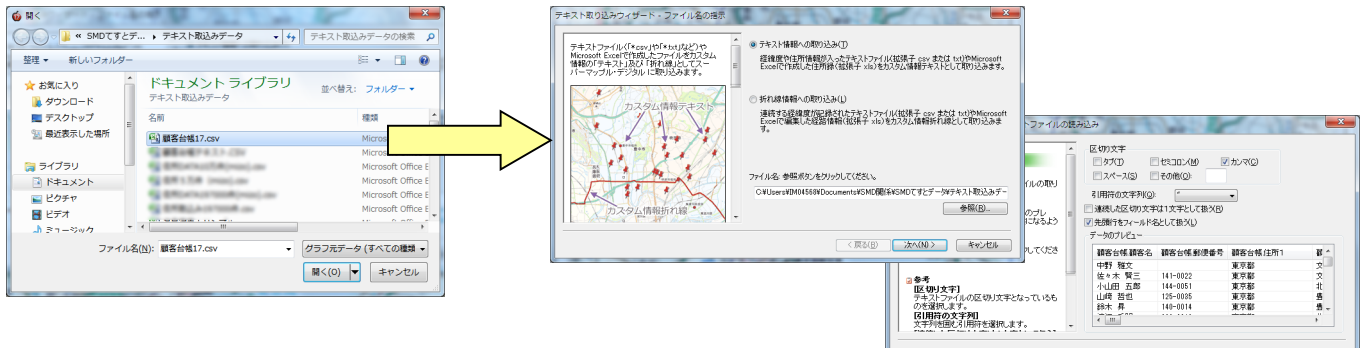
【顧客や施設情報などの取り込み基本構成】	2
A : テキスト情報への取り込み方法	3
【テキストデータ取込の応用編】	6
B : フォルダー別、アイコン別表示するためExcelでCSV形式のデータを加工する	6
C : クラス分けしたデータを地図上にフォルダー別、アイコン別に表示する	8
D : データ表示の変更方法	10

A : テキスト情報への取り込み方法

① 「取込」タブの「テキスト」をクリックし、「テキスト情報への取り込み」を選択します。

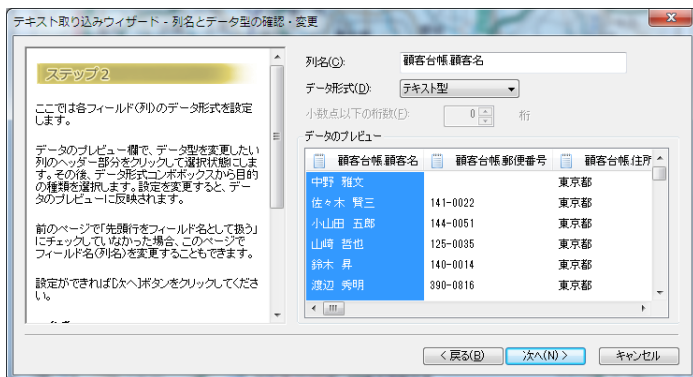


② 該当のファイルを選択し [開く] → [次へ] をクリックすると、データが取り込まれます。



★[先頭行をフィールド名として扱う]の意味は
先頭行をフィールド名（項目名）として取り込みます。
先頭にフィールド名が無い場合は、自動的にフィールド番号が付与されます。
・「区切り文字」が不明の場合、プレビュー画面を見ながら設定してください。

③ [ステップ2] は、各列（項目名）のデータ形式の確認をします。



④ [ステップ3] は、表示位置を特定する、「郵便番号」「住所」「経度・緯度」で設定します（「住所での例」です）。

★設定された項目は移動します。

【重要】テキストファイルの取り込みでは、名称、表示位置（郵便番号、住所、経度緯度）の設定が必須です。

⑤ [ステップ4] は、名称（必須）など取り込みに必要な基本的な要素を設定します。

★取り込む情報の項目名が「取込欄」に無い場合は、次の画面で「コメント」欄で取り込みます。

⑥ [ステップ5] は、「取り込み」欄にない項目を「コメント」欄に取り込みます。複数の項目を取り込むことができます。

⑦ [ステップ6] は、スーパーマッフル・デジタルで作成した情報をCSV出力した情報を、取り込む時に使用します。「次へ」をクリックしますと、テキストデータを検証し、取り込みを開始します。

⑧ [最終ステップ] は、取り込み後の状況を表示します。

・「大字」「市区町村」までしか一致しなかった場合には警告を表示しますが、「番地」・「号」レベルまで一致した場合は警告を表示しません。

項目数	警告内容	一致レベル	住所
488項目	警告: 大字まで一致	6桁	東京都江戸川区臨海町
499項目	警告: 大字まで一致	6桁	神奈川県横浜市高取
509項目	警告: 大字まで一致	6桁	東京都江東区東船場
529項目	警告: 大字まで一致	6桁	東京都府中市紅葉丘

・東京都や大阪市などの政令指定都市や、その他の県などは、その土地の住所体系が異なるため、若干警告の表示内容が異なりますのでご了承ください。

【テキストデータ取込の応用編】 Excelで加工すると取込み時にフォルダ一整理ができます

B：フォルダ別、アイコン別表示するためExcelでCSV形式のデータを加工します。

- ① データの「列」に「アイコン番号」「クラス別フォルダ」「引出線」の項目を追加してください。
※項目名は、Excel表の1行目に設定します。

アイコン番号

引出線

クラス別フォルダ

- ② 「アイコン番号」と「引出線」の項目には、スーパーマップルで各クラス別に表示させたいデザインの「アイコン番号」や「引出線」を「半角数字」（次ページ参照）で入力してください。

- ③ 「クラス別フォルダ」項目に、値が振り分けられているクラスごとに、「/Aクラス/」「/Bクラス/」「/Cクラス/」のように半角スラッシュで囲まれたデータを入力します。

☆参考：

フォルダとして入力するデータは「/Aクラス/」のように半角スラッシュで文字を囲んで入力します。

/(半角)○○○ (クラス分けする名称) /(半角)

★「アイコン番号」は下記のようにになっています。

既定のアイコン表



アイコン対応番号表

0	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	31
32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47
48	49	50	51	52	53	54	55
56	57	58	59	60	61	62	63
64	65	66	67	68	69	70	71
72	73	74	75	76	77	78	79

例えば「Aクラス」に「青色の丸」を表示させたい場合は、「16」を、「Bクラス」を「黄色の丸」で表示させたい場合は「18」を、Cクラスを「赤色の丸」で表示させたい場合は「17」を記載します。

★「引出線設定」は下記のようにになっています。

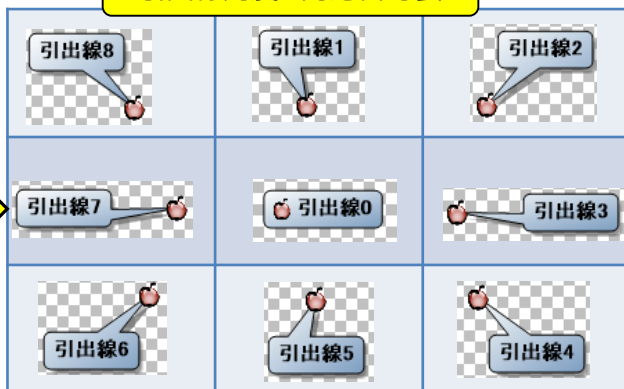
ラベル(名称)の表示位置の選択表

ラベルの表示位置を指定してください。
標準では、所在位置に表示されます。
(このままでOKなら[次へ]をクリック)

表示方向を指定する

左上 上 右上
 左 (標準) 右
 左下 下 右下

引出線角度の対応番号表

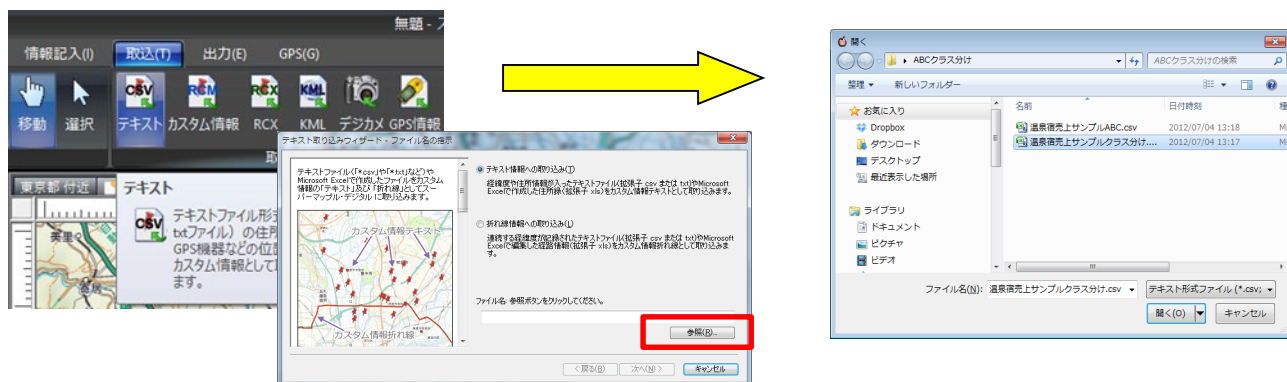


データ「取込み」結果

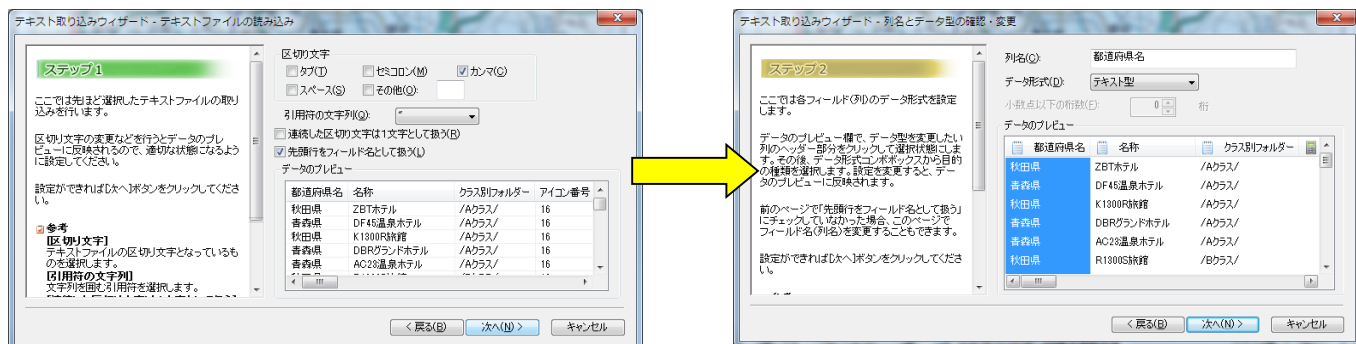


C : クラス分けしたデータを地図上にフォルダー別、アイコン別に表示します。

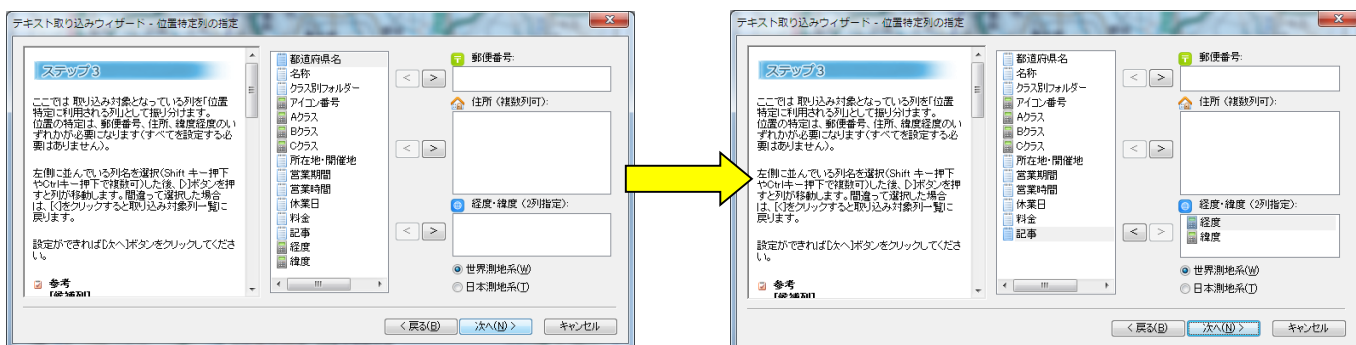
- ① スーパーマップル・デジタルを起動し、「取込」タブの「テキスト」をクリックし、P3ページの①②を参考に「参照」をクリックし、地図に表示するため「クラス分け」するデータファイルを選び「開く」→「次へ」をクリックします。



- ② [ステップ1] の「データのプレビュー」で追加した項目名「フォルダー」「アイコンID」「引出線」が、データプレビューの最上位の項目に表示されているかを確認し「次へ」。
[ステップ2] では、各列（項目名）のデータ形式を確認します。

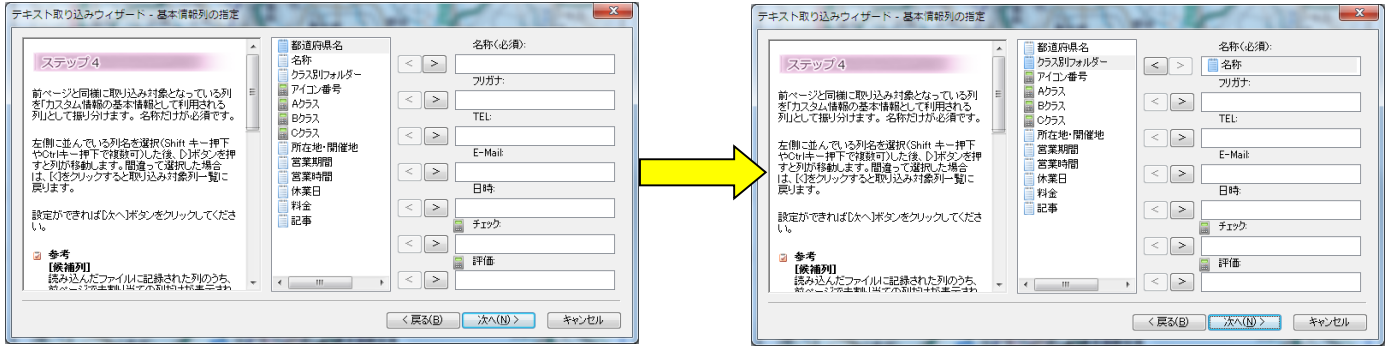


- ③ [ステップ3] は、表示位置を特定する「郵便番号」「住所」「経度・緯度」で設定します。（「経度緯度での例」です。）



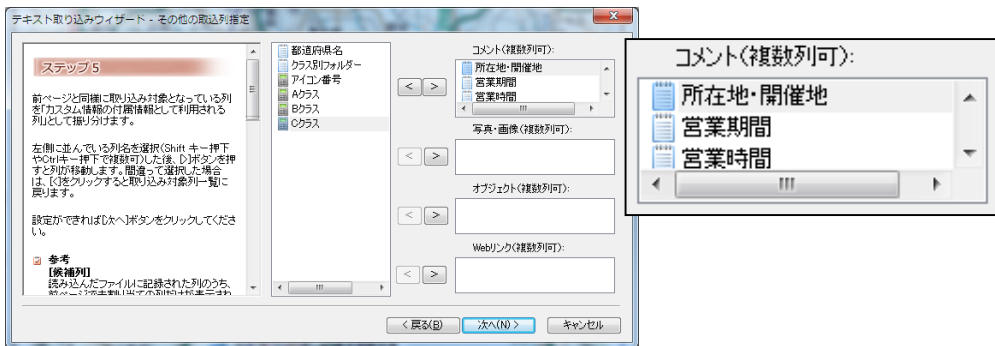
【重要】テキストファイルの取り込みでは、名称、表示位置（郵便番号、住所、経度緯度）の設定が必須です。

④ [ステップ4] は、名称（必須）など取り込みに必要な基本的な要素を設定します。



★取り込む情報の項目名が「取込欄」に無い場合は、次の画面で「コメント」欄で取り込みます。

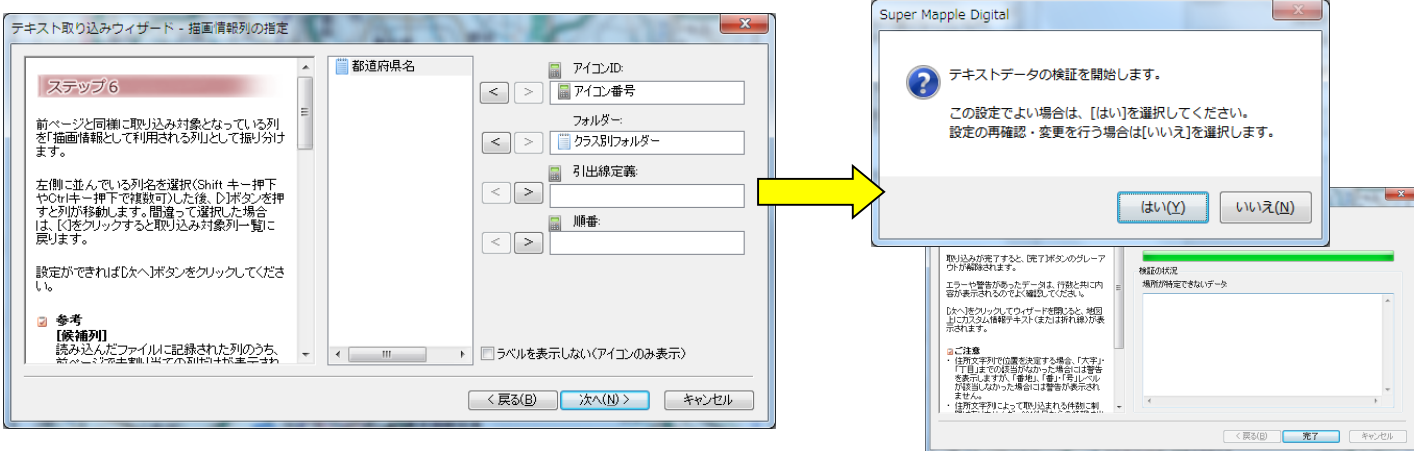
⑤ [ステップ5] は、「取込欄」にない項目を「コメント」欄に取り込みます。複数の項目を取り込むことができます。



⑥ [ステップ6] は、Excelで加工した情報を取り込みます。

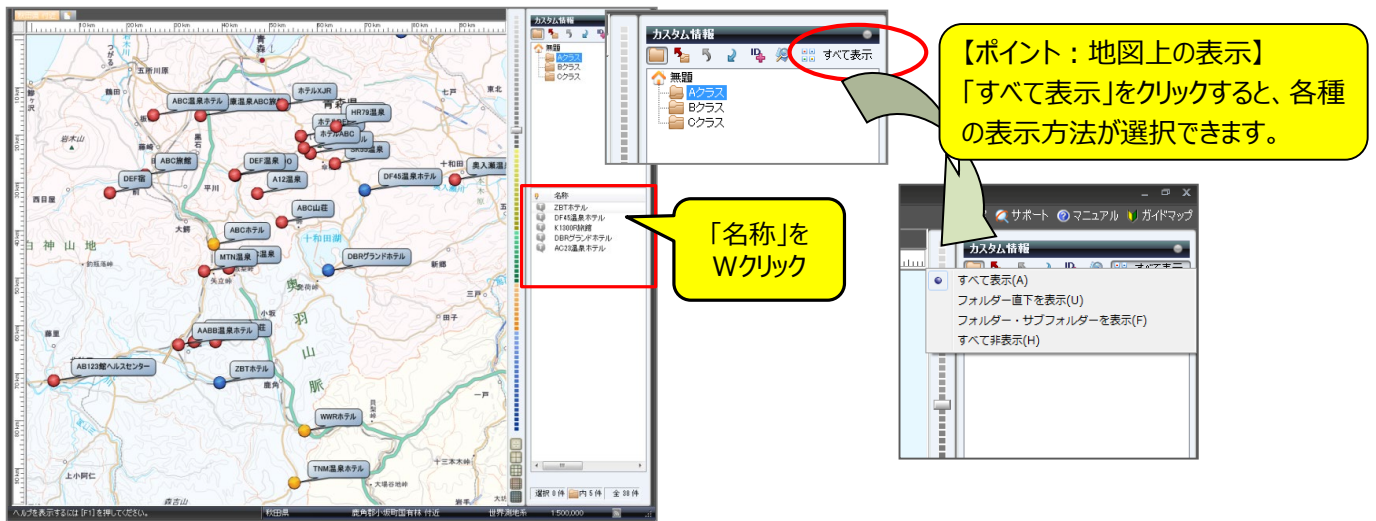
- ・「アイコン番号」を「アイコンID」へ
- ・「クラス別フォルダー」を「フォルダー」へ

「次へ」→「はい」をクリックしますと、テキストデータを検証し、取り込みを開始します。「完了」をクリックします。



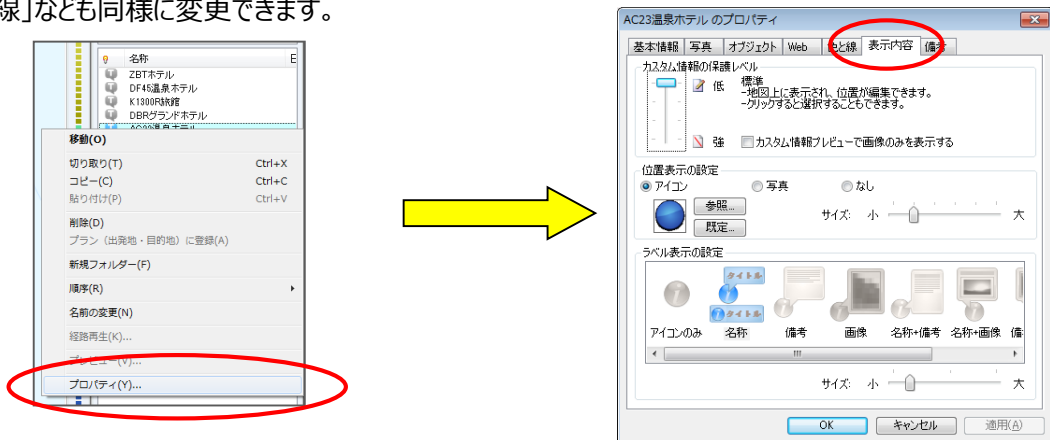
⑦ 地図上にABCクラス別が表示されます。

・画面に表示されていない場合は、カスタム情報欄の「名称」をWクリックしますと、地図が移動します。

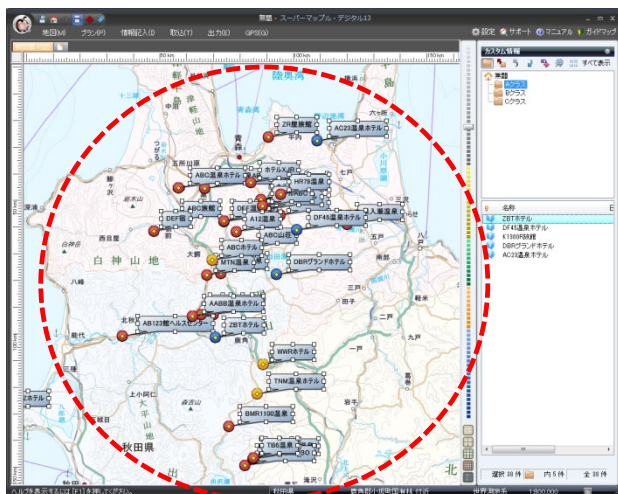


D：データ表示変更の方法

① 「情報記入」タブで「選択」モードに切り替え、地図上の表示変更したい「名称」の上で、「右クリック」し「プロパティ」を選択します。
 「表示内容」タブを選択するとアイコンの大きさや、ラベル（名称）の大きさや表示内容などを変更することができます。
 「色や線」なども同様に変更できます。



② 一括で表示変更する場合は、「名称」をクリックした後、その名称の上で「Ctrl+A」を押すと一括選択されるので、右クリックし「プロパティ」を開き変更を行ってください。



以上